

東北出身のソウル&ビート!

和太鼓

津軽三味線

ドラム&パーカッション



天地人コンサート

みちのく
未知国、光る音魂



Soul & Beat Unit

バンド「天地人」は2003年に結成されました。三人のミュージシャンはそろって東北の中でも北の地方出身です。彼ら三人は自分達の音楽によって天と地を結びつけたいと願っています。天空の「ten」、大地の「chi」、そして人の「jin」の3つの要素が結び合わされています。

コンサート日時 : 2011年7月16日(土) 19時開演
コンサート会場 : 州立民族博物館 Staatliches Museum für Völkerkunde
ミュンヘン、マクシミリアン通り42番地 Maximilianstr. 42 80538

München

入場料 : 15ユーロ(一般)
10ユーロ(独日協会会員、日本人会会員及び学生・生徒)

＜どちらも会場の当日券売り場でのみ発売＞

＜楽器について＞

津軽三味線：

三味線はばちで叩く、日本の伝統的な三本弦の弦楽器。津軽地方で特に好んで使われている太棹が津軽三味線。

太鼓：

日本の伝統的な打楽器で、様々な大きさの太鼓がある。

＜ミュージシャンのプロフィール＞

大間ジロー（ドラム・パーカッション）：

1954年生まれ。若い頃から既に米英のビートルズやロックの影響を受ける。21歳でバンド

“オフコース”にドラマーとして参加し、1980年代の日本で大ブレイクする。「さよなら」や

「YES-NO」等のヒットを生み、“オフコース”のアルバム22枚、シングルを26枚出す。コンサートは800公演に及ぶ。

大沢しのぶ（和太鼓）：

日本の和太鼓界において将来を担う女性奏者。若いときから既に数々のコンクールで優勝。

黒澤博幸（津軽三味線）：

2002年から2004年にかけて三年連続の津軽三味線日本チャンピオン。

三人のミュージシャンは皆、今年3月11日に起こった地震と津波の被災地であり、数多くの犠牲者を出した東北地方の出身です。この三人の有名ミュージシャンによる今回のコンサートは、東北の豊かな自然の回復、そしてそこに生きる人々が復興の為の力を得ることを祈って演奏されます。西洋と伝統的な日本の楽器のコンビネーションによるバンドのフュージョンサウンドは、古くから伝えられた歴史に新しい音楽表現を与え、生き生きとした強い色彩の中に、東北地方の触れることのできない自然とそこに生きる人々の心を描き出すのです。



日独交流150周年
Jahre Freundschaft
Deutschland – Japan



50 Jahre DJG
in Bayern e.V.